

ドライスーツ仕様書

京都市消防局警防部警防課

(担当:下釜、馬場 075-212-6745)

この仕様書は、京都市消防局に納入するドライスーツの仕様について定めたものである。

1 品名

ドライスーツ (本体、フード、付属品)

2 本体

(1) 主体部生地

ア 生地の主構造は、ドライスーツ用クロロプレンゴムとする。

イ 表面は、肩部、臀部を4層塗りのラジアルコーティングをしたものとし、それ以外の部分は、カノコDXジャージ生地を使用すること。

ウ 裏面は、抗菌性、防臭性、吸湿拡散機能を有し、保温性、伸縮性の高いナイロンジャージとする。

エ 生地の主構造部分であるクロロプレンゴムの厚さは、4層ラジアルコーティング部分及びカノコジャージ生地部分については3.5mmとすること。

(2) 首シール部生地

クロロプレンゴムを主体とし、表面は、リペルスキン、裏面には、保温性、伸縮性の高いナイロンジャージが張り付けられた厚さ3mm程度のものとする。

(3) 手首シール部生地

クロロプレンゴムを主体とし、表面は、保温性、伸縮性の高いナイロンジャージ、裏面には、リペルスキンが張り付けられた厚さ5mm程度のものとする。

(4) ファスナー

ア ファスナーは、防水構造を有するTITEX Vertriebs社製TIZIP MasterSeal 10又は同等品とすること。水中でもファスナーが露出しないよう保護する構造とすること。

イ ファスナーの取り付け位置は、使用者が一人で脱着可能な前面の胸部に取り付けること。

(5) 給気弁

胸部に中圧ホースと脱着可能な360度回転式の給気弁を取り付けること。

(6) 排気弁

左腕部に手動または自動で排気量を調節可能な自動排気弁を取り付けること。

(7) ブーツ

接触に強いラジアルコーティングを施し、足底は、濡れた路面でも滑りにくい構造とすること。

(8) 反射板

マイクロプリズム構造の反射板を8箇所取り付けること。

(9) サスペンダー

ドライスーツの内側にサスペンダーを取り付けること。

(10) パット

肘及び膝の部分に1mm程度のゴム製のパットを張り付けること。

(11) 生地の接着

ドライスーツの接着部分については、表面は、ラジアルテープ、裏面はジャージテープとすること。ただし、複数の張り合わせ部分についてはクロロプレンゴムによる補強を行うこと。

(12) 標記

左胸及び背中に消防本部名（「京都市消防局」）を記入すること。

3 フード

(1) 生地の主構造は、クロロプレンゴムとすること。

(2) 表面は、ナイロンジャージの生地、裏面は、リペル加工施された生地又は同等の生地ものを張り付けたものとし、生地の厚さ3mm程度とすること。

4 付属品

ドライスーツ1着につき、以下のものを付属すること。

(1) カプラー付中圧ホース 1本

(2) ネックバンド 1本

(3) リストバンド 1対

(4) 補修用キット 1式

ア 補修用接着剤 1本

イ 補修用パッチ 1枚

ウ 防水ファスナー用潤滑油ワックス 1本

5 例示

アクアラング社製ハイブリッドドライスーツ

6 数量

8着

7 その他

(1) この仕様書に疑義がある場合は、当局担当者と協議し決定すること。

(2) 配色、サイズ及び消防本部名の標記については、当局と協議の上決定する。

(3) 試着等で不具合が発生した場合は、納入業者の責任により作り直し等の処置を行うこと。

8 納入期限

令和7年3月31日（月）

9 納入場所

京都市消防活動総合センター

京都市南区上鳥羽塔ノ森下開ノ内94番地の4